

「濃尾平野の水害の歴史」巡検 報告



巡検案内書の表紙

1. 概要

- ① 実施日：令和6年5月23日・24日
- ② 参加者：11名
中部支部より8名参加（1日目：7名、2日目：3名）
- ③ 巡検地：岐阜県安八町・大垣市・海津市・養老町、三重県長島町、愛知県愛西市・弥富市・名古屋市
- ④ 巡検のテーマ：濃尾平野西部の木曽三川流域中流域で発生した豪雨による河川氾濫災害および木曽三川河口域で発生した伊勢湾台風による高潮災害にかかわる自然災害伝承碑を見学した。さらにそのような自然災害を発生させた地形・地質要因を見学した。
- ⑤ 見学地の見どころ：濃尾平野の西縁となる養老山地の麓には活断層（養老・桑名・四日市断層帯）が走り、断層地形と濃尾平野に向けて広がる扇状地の発達が顕著である。養老・桑名・四日市断層帯を境に西側の養老山地は隆起しているが、東側の濃尾平野の基盤は西側ほど沈下しており、傾動地塊といわれている。その結果、木曽三川の流路は濃尾平野の西に集まることになり、かつては三川

が複雑な網状河川を形成し、最も西にある揖斐川の水位が相対的に低い特徴を有していた。このような地形・地質条件が古くから河川氾濫災害を起こす要因となっていた。

この地域に定住しようとした祖先は輪中を作り、堤防築堤や河道付け替えなどを繰り返して災害リスクを低減させてきた。このような先人の苦勞の歴史についても説明を行った。

さらに扇状地が発達する沢における土石流災害に関する見学、戦後に発生した濃尾平野における広域な地盤沈下、伊勢湾の干潟に戦後に作られた干拓地などの説明も行った。

⑥案内者：以下の4名

永田秀尚氏（部会員）、小林浩氏（部会員）、居川信之氏（中部支部）、加藤靖郎氏（部会員）

2. 巡検案内書の構成

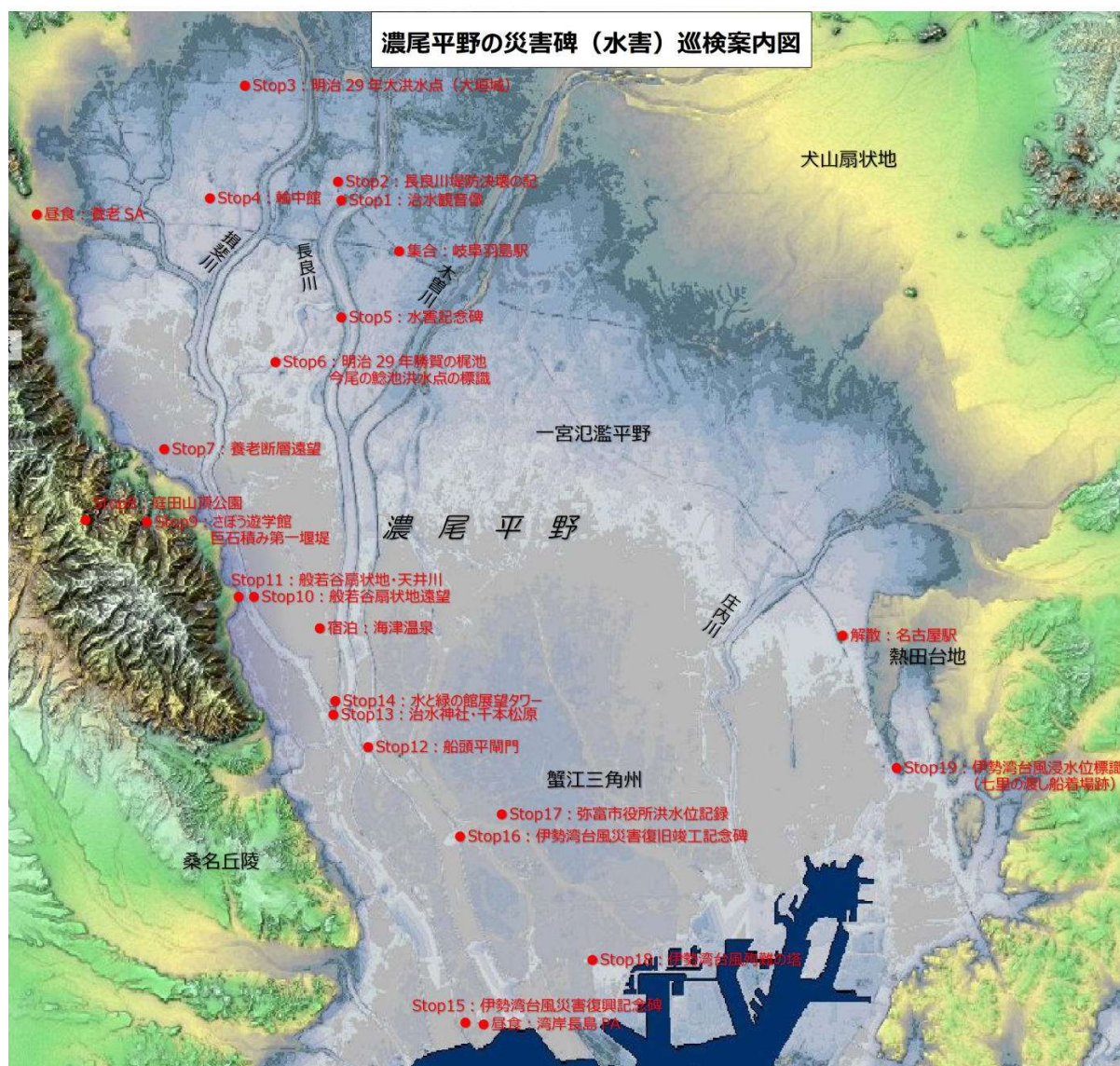
巡検案内書の目次を以下に示すが、最初に地形・地質に関する概要と主要な災害についての説明を行った。

- 1.地形
- 2.活断層（養老-桑名-四日市断層帯）
- 3.地質
- 4.水害の歴史
 - 4.1.明治29年の水害
 - 4.2.昭和34年の水害（伊勢湾台風）
 - 4.3.昭和51年の水害
- 5.見学地点 <各見学地点の説明>

3. 巡検コースと見学地点

濃尾平野の北からスタートし、木曽三川沿いに南下しながら見学し、濃尾平野に分布する沖積層の東端にあたる丘陵地を最終見学地とした。

見学の順序としては、河川の破堤地点を見学したら活断層地帯に近づいて断層と河川の関係を見学して、再び災害地へ移動するなど、俯瞰的に現地状況を確認できるようなコース設定とした。さらに中流域から下流域、河口へと移動し、最後は海岸線を移動したことで、流域環境の変化も体験していただいた。輪中に関しては輪中および輪中地域の生活を紹介する施設（輪中館）の見学だけでなく、輪中の上を走行して見学した。また随所で災害対策に尽力した過去の偉人たちの業績についても触れた。



Stop1：治水観音像＜自然災害伝承碑／昭和 51 年台風 17 号＞

Stop2：長良川堤防決壊の記＜自然災害伝承碑／昭和 51 年台風 17 号＞

Stop3：明治 29 年大洪水点（大垣城）＜自然災害伝承碑／明治 29 年洪水＞

- ・大垣城の石垣に直接刻まれた洪水位の記録を見学した。

Stop4：輪中館にて輪中について見学

- ・館内は輪中に関する展示が充実しており、館長に展示物を解説していただいた。

【車中見学】養老断層の断層地形を見学した。

Stop5：水害記念碑＜自然災害伝承碑／昭和 27 年ダイアナ台風＞

【車中見学】薩摩藩士による宝暦治水工事で築かれた洗堰跡を見学した。

Stop6：明治 9 年勝賀の梶池今尾の鯉池洪水点の標識＜自然災害伝承碑／明治 29 年洪水＞

- ・Stop13 の治水神社にまつられている宝暦治水工事の責任者である薩摩藩士平田靱負（ゆきえ）の銅像も見学した。

【車中見学】輪中堤の上を走行し、輪中堤および輪中内外の様子を見学した。

Stop7：養老断層遠望および撓曲崖観察

Stop8：庭田山頂公園より濃尾平野遠望

Stop9：さばう遊学館・巨石積み第一堰堤

- ・さばう遊学館では養老山地での砂防対策を見学し、その近隣にある明治時代のオランダ人技師ヨハネス・デ・レーケによる巨石を積んだ砂防堰堤を見学した。

Stop10：般若谷扇状地遠望

- ・典型的な扇状地地形を遠望した。

Stop11：般若谷扇状地・天井川

- ・扇状地を流れる天井川と、天井川をくぐる R258 号と養老鉄道のトンネルを見学した。

Stop12：船頭平閘門

- ・水位差がある長良川と木曽川の水上交通のために明治時代に作られた閘門とデ・レーケの銅像を見学した。

Stop13：治水神社・千本松原

- ・宝暦治水工事によって築かれた長良川と揖斐川を分離する堤防を見学し、工事の責任者だった平田靱負をまつた治水神社を見学した。

Stop14：水と緑の館展望タワーから濃尾平野、木曽三川、養老断層などを遠望

【車中見学】揖斐川と長良川を分離する堤防上を走行しながら見学した。

Stop15：伊勢湾台風災害復興記念碑＜自然災害伝承碑／昭和 34 年伊勢湾台風＞

Stop16：伊勢湾台風災害復興竣工記念碑＜自然災害伝承碑／昭和 34 年伊勢湾台風＞

Stop17：弥富市役所洪水位記録＜昭和 34 年伊勢湾台風＞

【車中見学】鍋田干拓地内を通行し、伊勢湾台風後の災害復興住宅を見学

Stop18：伊勢湾台風殉難之塔＜自然災害伝承碑／昭和 34 年伊勢湾台風＞

Stop19：伊勢湾台風新水位標識（七里の渡し船着き場跡）＜自然災害伝承碑／昭和 34 年伊勢湾台風＞



Stop8 庭田山頂公園



Stop9 巨石積み第一堰堤



Stop14 水と緑の館展望タワー



Stop19 七里の渡し船着き場跡（最終地点）